

第1回県市協調未来創造検討会議の概要

- 1 日 時 令和2年10月22日(木) 10:00~11:00
- 2 場 所 JRホテルクレメント徳島
- 3 出席者 会長、副会長、本会議委員、新ホール部会委員、青少年センター一部会委員

＜議事での意見＞

【新ホール整備全体】

- ・新ホールがやっと動き出した。早急にスピード感を持って進めて頂きたい。
- ・新ホールを徳島の魅力度を上げる素晴らしい文化施設、県民市民の誇りとなる施設に。
- ・予算はかけても将来的に回収できる。そのような観点もお願いできれば。
- ・県市協調で新しいホールを造るのは、全国的に見てもかなりチャレンジングな事例。
この中で素晴らしいホールを実現し、先駆的な事例として見本になるような整備・運営を。
- ・新ホールの声が高まっているというエビデンスを県民市民の方に示す必要がある。
- ・(当日チケットが)余っていれば、学生とか住民の方は半額や無料で入れるとか工夫を。
- ・県民市民が文化事業を支えるような仕組みも必要ではないか。

【施設の規模・機能】

- ・オンラインを活用して世界と繋がるホールに。
- ・デジタルアートや最新の照明、音響、舞台で、最先端の音楽や舞台に対応できるホールに。
- ・観客席を広く、2000席が1800席になっても、良いシートにしてほしい。
- ・屋外に設けられたLED画面でホール外でも文化を楽しむことが出来るような空間を。
- ・徳島を特徴づけるのは阿波おどり。最高の舞台で踊れるものを。
花道やランウェイのような出入りがあれば、阿波おどりや歌舞伎で使える。
- ・ピロティも単なる空間ではなく、芸術品の展示とか映像、eスポーツもできるなど工夫すれば、単にコストがかかるだけではなく、活性化の拠点になる。

【にぎわい・まちづくり】

- ・ホールが話題となって、全国からも人が集まるホールをお願いしたい。
- ・映像、舞台だけではなく、街のにぎわいづくりを。
- ・将来的に徳島中央公園とも繋げて、駅からの導線や駐車場整備をはじめ、
中心市街地のランドデザインができるように。
- ・「未来志向」として、来るのは年配の人ばかりではなく、これからの若い人も。
- ・新ホール、青少年センターが新しい機能を持てば、若い人たちが徳島に残って楽しみ、
県外の人を迎えるなど、大きな活性化に繋がる可能性。
- ・この施設を建てる上で、線路を跨いだりとかできないか。市役所と繋げられないか。
- ・後々徳島駅と繋がっていくなど複合的に考えたら、ランドマークに近づく。
- ・全体的なフィールドの課題解消ができるようなランドデザインを。

＜第1回検討会議後の動き＞

- ・「県民アンケート」 令和2年10月30日より「県民アンケート」を実施。
- ・「埋蔵文化財の調査」 事前調査として、令和2年11月4日から「試掘調査」を実施。